

AICC NEWS

あいつく・にゅーす

経営講演会

「知識より大事なもの」 「それは知恵と意志と行動力」

「商品開発の原点は、常に現場にあり」「知識より大事なもの、それは知恵と意志と行動力」「経営は理屈ではなく、実践である」など、引越越しサービスを近代化した経験から語られる経営哲学は、好評を博しています。多数の皆様のご参加お願い申し上げます。

講師紹介

寺田 寿男氏 (アートコーポレーション(株) 代表取締役会長)

【略歴】

1945年9月生まれ。68年寺田運輸創業。76年寺田運輸の一事業としてアート引越センターを設立。77年株式会社組織にすると同時に専務に就任。90年アートコーポレーションに社名変更。2000年代表取締役会長に就任し現在に至る。

【活動】

・「ドリーム・サルーン・ナイス21」「カーキャリア21」「カーゴキャリア」「カーゴライナー」「カーゴサルーン」など引越越しサービスの新商品を展開し絶大な人気を獲得。

・ハウス・クリーニング業や輸入車販売業、輸入住宅設計・施工のアートプランニング(株)の設立。

・寺田千代乃氏 (アートコーポレーション代表取締役社長・関西経済同友会代表幹事) との婦唱夫随のオシドリ経営スタイルは有名。



日時 平成14年11月22日(金)14時～15時30分
場所 明石市立産業交流センター研修室
定員 60名
主催 明石市、(財)明石市産業振興財団
受講料 無料

経営者養成セミナー

「これからの金融機関との付き合い方」 「ペイオフおよび金融対策セミナー」

①ペイオフ時代の心構え

- ～企業・個人資産への影響
- 中小企業とペイオフ制度
- ペイオフの流れを検証する
- 銀行だけが、なぜ過保護なのか
- ペイオフの問題点

②ペイオフ時代の金融機関

- ～リスク管理のポイント
- 危ない金融機関の見分け方
- 格付け

- ・ディスクロージャー
- ・ディスクロージャーの重要性
- ・銀行のディスクロージャーをどう読むか

③資金繰り表の作成

- ・資金繰りとは
- ・簿記会計の基礎

④会社の資金とその流れ

- ・貸借対照表と資金
- ・損益計算書と資金
- ⑤これからの金融機関との付き合い方
- ・パートナーを探せ

講師紹介

安藤 幹根氏 (日本マネジメント協会・公認会計士、税理士)

【略歴】

昭和62年太田昭和監査法人(現、新日本監査法人)入所。平成11年安藤公認会計士事務所開設。J・M(株)日本マネジメント協会(関西)の専門委員公認会計士として活躍中。

日時 平成14年12月4日(水) 13時30分～16時
場所 明石市立産業交流センター(研修室)
受講料 5000円
定員 40名
主催 (財)明石市産業振興財団



神戸学院大学公開セミナー 『これからの地域振興と産業政策』

今日、地域の風景は大きく変わりました。子供の数が減り、お年寄りが増え、外国の商品が身の回りに溢れています。携帯電話は今や必需品になりました。こうした変化を背景に、地域では、経済の空洞化や財政赤字、ごみ問題、市長村合併など、さまざまな現象や問題が起こっています。これから地域はどこへ向かうのでしょうか。地域振興のためにはどのような仕組みが求められるのでしょうか。地域の経済的基盤である産業活動に注目しながら考えてみたいと思います。

日時 平成14年11月13日(水) 14時～16時
場所 明石市立産業交流センター 研修室
講師 神戸学院大学
経済学部教授 田中 美生氏

主催 神戸学院大学・(財)明石市産業振興財団
定員 60名
受講料 無料
申込・お問い合わせ先

神戸学院大学生涯学習センター
☎078-974-1551
FAX078-974-2313
E-mail open-univ@j.kobegakuin.ac.jp
(財)明石市産業振興財団
☎078-936-7915
FAX078-936-7916
E-mail aicc@nifty.com

専門技術講習会

『建築物の免震・制震構造について』

①『振動の基礎から建築物の振動について』

明石工業高等専門学校建築学科 谷本 祝紀教授
振動現象の基礎について説明し、それをもとに単純な振動が作用した時の構造物の反応(応答)、及び地震のような複雑な振動が作用した時の構造物の反応についてお話しします。また、低層建築物と高層建築物の揺れの違いや今後予想される地震などについて紹介します。

②『免震・制震構造の現状と展望』

明石工業高等専門学校建築学科 中川 肇助手
「免震・制震がなぜ地震に強い構造であるか」を、免震・制震構造の基本概念ならびに設計・施工事例の紹介や制震構造に関する最近の研究・話題を取り入れてお話しします。

日時 平成14年11月27日(水) 13時30分～16時30分
①13時35分～14時50分
②15時10分～16時25分
場所 明石市立産業交流センター研修室1
受講料 無料
定員 60人
主催 明石工業高等専門学校、明石商工会議所、(財)明石市産業振興財団

『建設リサイクル法

廃棄物処理法対応講習会』

①『建設リサイクル法の概要』

講師 森 郁雄氏
建設資材廃棄物という個別の廃棄物に着目し、その再資源化を促進するために「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」が公布され、平成14年5月30日より完全施行されました。

②『廃棄物処理法の概要』

講師 田口 計介氏
廃棄物の適正な処理体制を整備し、不適正な処理を防止するため「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」が改正され、平成13年4月に完全施行されました。廃棄物処理法の改正後の概要と法改正に伴う企業の対応について、また廃棄物をめぐる最近の動向について解説します。中小企業の方々への情報提供の一環として、講習会を開催します。

日時 平成14年11月14日(木) 13時～16時50分
場所 明石市立産業交流センター多目的ホール
受講料 無料
定員 150人(先着順)
主催 中小企業総合事業団、(財)兵庫県中小企業振興公社(兵庫県産業情報センター)、(財)明石市産業振興財団

移動工業技術センター

『技術の悩みはこれで解決』

中小企業に対する技術支援を強化し、技術力の強化や新事業展開を推進する目的で、工業技術センターの職員が県下各地に出向き、問題解決の助言などの技術相談や技術支援を行います。このため、下記のとおり、移動工業技術センターを開催いたします。

明石地区企業の皆様のご参加をお願いいたします。

内容

① 工業技術センター各部所の紹介

(13時30分～15時15分)

技術支援部

尾野凱生氏

材料技術部

三宅輝明氏

ものづくり開発部

元山宗之氏

ものづくり開発部

松井 博氏

ものづくり開発部環境・バイオ担当部長

藤村 庄氏

ものづくり開発部情報技術担当部長

小阪宣之氏

機械金属工業技術支援センター所長

杉本 護氏

② 技術相談会 (15時30分～16時30分)

日時 平成14年12月13日(金)13時30分～16時30分

場所 明石市立産業交流センター研修室

受講料 無料

申込及び問合せ先

兵庫県立工業技術センター 技術支援部 森山、柏井

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3丁目1-12

TEL 078-7331-4163

FAX 078-7335-7845

(財)明石市産業振興財団

〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1-4-7

TEL 078-9336-7915

FAX 078-9336-7916

新科学・技術用語の解説

「燃料電池って?」

今日、新聞、テレビなどで次世代エネルギーとして期待されている「燃料電池」に関する記事やニュースに触れる機会が増えてきました。燃料電池の大きな特長は、他の二次電池(充電可能な電池)と異なり、充電するための電源のない山中、海上、宇宙でも水素と酸素があれば発電できることです。燃料電池は、下図に示すように空気中の酸素と天然ガスなどに含まれるメタンやメタノール(アルコール)などから取り出した水素との化学反応により発電します。化学反応により、電気、熱、水を発生するだけで、二酸化炭素などの有害な物質を出さないことからクリーンエネルギーとなります。

燃料電池には5種類のタイプがあり、反応温度により低温型(運転温度300℃以下)と高温型(運転温度300℃以上)に分類され、使用する燃料と目的に応じて使い分けられます。用途としては、燃料電池自動車、地震などの災害時や病院での停電時の非常用発電、スペースシャトルなどの宇宙船、ビルでの発電に使用されます。また、下水の汚泥、生ゴミの処理時、化学工場から発生するガスを利用した発電などにも使用され、資源の有効利用にも役立っています。

最近の研究の動向としては、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の削減に効果的な燃料電池車に使用される固体高分子型燃料電池(PEMFC)では、高価なフッ素系高分子膜やセパレータ

の低コスト化、触媒用白金の使用量低減など、実用化に向けた研究が行われています。さらに、メタノールを燃料に使用するメタノール直接型燃料電池(DMFC)も研究されており、燃料電池を搭載した長時間使用可能な携帯電話やノートパソコンが数年後にも実用化されるかもしれません。

解説者
兵庫県立工業技術センター 材料技術部 園田 司氏



図. 燃料電池による発電の原理

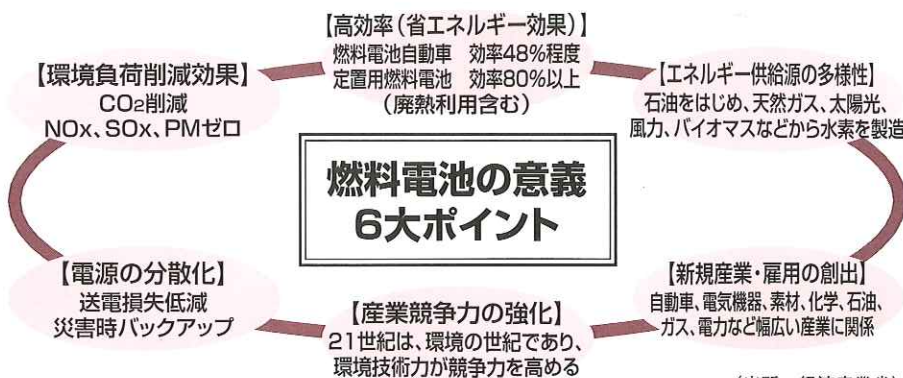


図. 燃料電池の意義

会社拝見

Vol.14



代表取締役社長 奥井 秀樹氏

奥井電機株式会社 会社概要
 代表取締役社長 奥井 秀樹
 所在地 明石工場
 明石市大久保町西島310番地
 資本金 5,000万円
 従業員 70人

今回の会社拝見は、制御技術のプロフェッショナルとして、あらゆる産業、公共施設の電気制御を担い、高品質な製品を柔軟な発想で、独自の一貫生産体制から提供しておられます。奥井電機様をお訪ねし、代表取締役社長奥井秀樹氏にお話をうかがいました。

Q：御社の事業内容をお聞かせください。
 A：原子力を含む発電プラント、公共施設、各種産業プラント、船用装備及びメカトロ製品など、社会基盤に関わる様々な制御施設等を受注開発しております。「技術・品質重視型企業」として、高度な技術と品質で業績拡大に努めています。

Q：御社の経営理念をお聞かせください。
 A：社是の「誠実」「信用」「合力」に基づき「お客様に喜ばれる製品づくりを」の理念のもと、長年の実績と、最先端技術への柔軟な発想・挑戦により、社会に貢献しつつ、更なる発展を遂げます。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。
 A：ISO9001認証取得による品質保証体制で市場ニーズに即応できるよう設計から検査、アフターサービスまでの一貫生産体制で、多品種少量生産に対応しています。また、各工程には、専門技術スタッフの配置により、総合的に管理体制をフォローするというシステムになっています。



超音波応用工業計器



急速ブライン凍結機@CALL (アッと凍る)

Q：「ものづくりに」へのこだわりをお聞かせください。
 A：開発・設計・製造までの一貫生産体制の利点を生かして、フレキシブルな製品を短期間に開発します。「温泉たまご」を作る機械などは、知人との会話の中で誕生した製品で、得意とする制御技術の活用で開発し、世界で1台しかないオリジナル製品です。このような柔軟な発想で付加価値のある、お客様に喜ばれる製品開発に重点を置き、今後は、超音波式センサーだけでなく、磁気センサー、光応用センサーなどにも取り組んでいきたいと考えております。

Q：環境問題への取り組みについてお聞かせください。
 A：環境問題が大きくクローズアップされている昨今、技術・品質重視型企業として、環境問題を考慮した設計思想を製品に反映しています。全国の公共上下水道、各企業の排水処理施設及び発電所等に、センサーを含めたシステムを数多く納入しています。その他、急速ブライン凍結機「@CALL」や高品位解凍・鮮度保持庫「SPR DEPAK」などの製品は、ごみの減少にも繋がる製品であると自負しております。また、今後、ISO14000にもチャレンジしていく予定です。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。
 A：量的競争からは離れた付加価値の高い多品種少量生産メーカーとして、異業種交流などを通して分野にこだわらず情報収集し「お客様に喜ばれる製品づくりを」の理念のもと、「メイクディファレンス」をモットーに製品開発を進めていきます。

新着図書一覧表

No.	タイトル	
1	兵庫県の地場産業 H13・14年度版	(財) 兵庫県中小企業振興公社 兵庫県産業情報センター
2	図解「利益速度」でモノをつくれ!	日本プラントメンテナンス協会
3	町工場が減じたら日本も減じる	PHP研究所
4	社長!それは「法律」問題です	日本経済新聞社
5	セラミックスの機能と応用	技報堂出版
6	プロジェクトX 挑戦者たち①日米逆転	コンビニを作った素人たち 宙出版
7	「浜松企業」強さの秘密	東洋経済報社
8	気がつくとも機がぐちゃぐちゃになっているあなたへ	草思社
9	初歩から学ぶ機能水	工業調査会
10	ビジネスマンプロ化宣言	かんき出版
11	図解 業界地図が一目でわかる本	三笠書房
12	投資アドバイザー 有利子	角川書店
13	プロジェクトX 挑戦者たち②執念が生んだ新幹線	宙出版

新着図書のお知らせ

産業交流センター3Fの
情報ライブラリー

産業交流センター3階の情報ライブラリーでは、来館者が自由に閲覧・貸出できるよう、産業関係のビデオソフトや図書を取り揃えています。この度、最新の話題作など新たな図書が入荷しました。ぜひご利用ください。

また、閲覧コーナーでは、各種雑誌、日経全文記事データベースも揃えております。お気軽にお立ち寄りください。



編集後記

▼サラリーマンがノーベル賞を受賞しました。景気の低迷が続き、自信をなくしている日本社会に元気を取り戻させてくれる大きなできごとでした。何事もこつこつ努力してれば、評価が得られるという良い例ですね。日本の学力低下が言われている今日にあって、学力向上へのきつかけに繋がればいいですね。

▼4月1日、ベイオフ解禁になりました。テレビ、新聞、雑誌等で情報収集し、分かったつもりになり、実際、何も対策をとらなくても、何の影響も感じていないという人も多いこと思っています。私もそのうちの1人なんです。しかし、来年4月の全面解禁延期の記事を読んで安心した反面、少し危機感を感じました。個人も企業も「自分の財産は自分で管理する」という時代になってきたようですね。誌面でベイオフ対策のセミナーをご紹介いたしました。解禁が延期されている今こそ情報収集し、それぞれのベイオフ対策に活用しましょう。その他、講演会、セミナー等をご紹介いたしました。多数の方々のご参加お待ちしております。

▼お知らせ
 パソコン教室は、機種変更につき、年内お休みをいただくことになりました。皆様方にはたいへんご迷惑をかけておりますが、来年は新しい教室に再開いたしますので、ご参加頂きますようお願いいたします。

明石市立産業交流センター1F

喫茶力7E/17-11



各フロアへ出前致します

☎936-7915 (内線呼出)

AICC NEWS

発行日 第17号
 2002年(平成14年)11月1日
 発行 財団法人 明石市産業振興財団
 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
 (明石市立産業交流センター内)
 ☎078-936-7915
 ☎078-936-7916
 E-mail: aicc@nifty.com
 http://www.aicc.or.jp